



WE TRY NEW

いつも未来に挑戦

TAYCA REPORT

第145期 中間報告書

平成22年4月1日から平成22年9月30日まで

テイカ株式会社

証券コード:4027

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

当社は平成22年9月30日をもちまして、第145期の第2四半期連結累計期間を終了いたしましたので、ここに営業の概況をご報告申し上げます。

平成22年12月

代表取締役社長 **清野 學**



当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、アジア向け輸出の増加などで景気持ち直しの動きが見られたものの、急速な円高の進行により先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような環境の下、当社グループは積極的な販売活動を展開し、業績の向上に努めました。その結果、電子部品向けや化粧品向け等の機能性製品の販売が好調に推移したことにより、売上高は158億5千3百万円（前年同期比9.7%増）、営業利益は15億4百万円（前年同期比168.5%増）、経常利益は14億7千6百万円（前年同期比164.4%増）、四半期純利益は8億5千6百万円（前年同期比172.0%増）となりました。

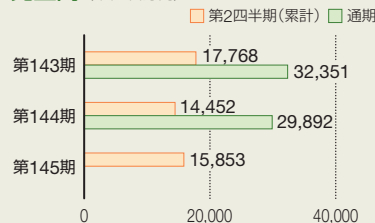
当社の中間配当につきましては、誠に不本意ではありますが、見送らせていただくことといたしました。

今後の見通しにつきましては、円高の進行により海外企業との競争が激化し、収益面で厳しさが増すものと予測されます。このような状況の下、当社グループといたしましては、引き続き電子部品向けや化粧品向け等の機能性製品の拡販に注力するとともに、汎用製品につきましては一層のコストダウンを図り、業績の向上に努めてまいります。

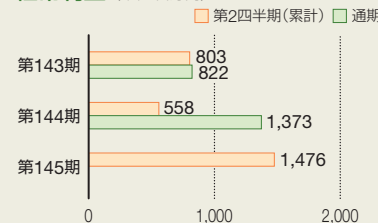
株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

財務ハイライト

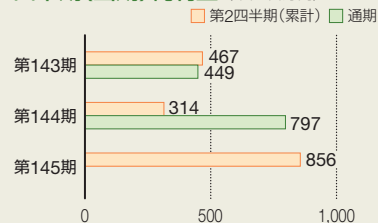
売上高 (単位:百万円)



経常利益 (単位:百万円)



四半期(当期)純利益 (単位:百万円)

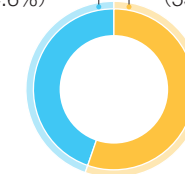


セグメント別の概況

事業区分	主要な事業内容	会社名
酸化チタン関連事業	酸化チタン、微粒子酸化チタン、微粒子酸化亜鉛、表面処理製品、光触媒用酸化チタン等の製造、販売	当社 テイカ商事(株)
その他事業	界面活性剤、硫酸、低分子量芳香族スルホン酸、無公害防錆顔料、導電性高分子酸化重合剤、電池セパレーター、エレクトロ・セラミックス製品等の製造、販売 化学工業薬品等の輸送、保管	当社 テイカ倉庫(株) テイカ商事(株) ティーエフティー(株) 朝日商運(株) TAYCA(Thailand)Co.,Ltd.

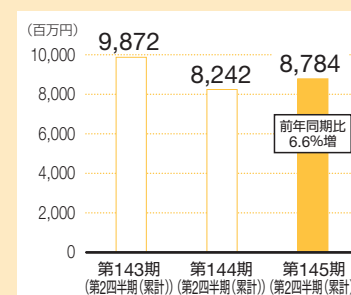
セグメント別売上高構成比

酸化チタン関連事業 8,784百万円 (55.4%)
その他事業 7,068百万円 (44.6%)



酸化チタン関連事業

汎用用途の酸化チタンは、国内は販売数量・売上高ともに前年同期並みを維持、輸出は国内主要取引メーカーの海外生産拠点向けの出荷



が好調でした。機能性用途の微粒子酸化チタン、表面処理製品は、主用途の化粧品向けが好調だったことに加え、コピー機などのトナー向けの需要も回復し、販売数量・売上高ともに増加しました。

こんなところに

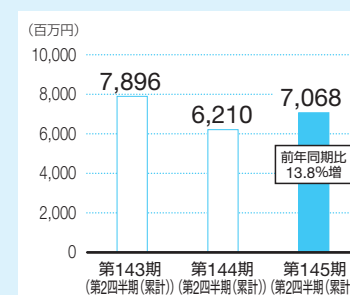
テイカの製品

「微粒子酸化チタン」、「微粒子酸化亜鉛」は、紫外線を遮蔽する効果があり、紫外線から肌を守るUVカット化粧品に使われています。



その他事業

界面活性剤の売上高は前年同期並みを維持しました。導電性高分子酸化重合剤、電池セパレーターは、中国市場に支えられ販売数量・売



上高ともに大幅に増加しました。無公害防錆顔料は自動車向けを中心に需要が回復、エレクトロ・セラミックス製品も医療用超音波診断機向けを中心に好調に推移し、売上高は増加しました。

こんなところに

テイカの製品

「導電性高分子酸化重合剤」は、パソコンやゲーム機などの電子機器に欠かせない機能性高分子アルミ電解コンデンサー等に使われています。



* 当連結会計期間より、従来の「その他化学品事業」および「その他事業」を統合し、「その他事業」といたしました。なお、前年同期比較数値につきましては「その他化学品事業」と「その他事業」を合算しております。

○長期ビジョン

当社はこの度、実行期間を9年間とする長期経営ビジョン「Challenge 100」を策定しました。

1. 策定の主旨

当社は、1919年創業以来、時代や社会のニーズにあった様々な化学工業薬品の製造・販売に努めて来ました。この間、スルホン化、粉体・粒子制御、表面処理などの当社独自技術により、社員一同がスペシャリストとして技術を生かし、ニューテクノロジーを創造し続けることでテイカを発展させて来ました。

当社は2019年に創業100周年を迎えます。これを機に我が社のあるべき将来像「Challenge 100」を全社員の共通認識として明確にし、「はばたこう 限りない未来へ」を合い言葉に、人と組織の活性化を図り、強靱な経営体質の構築を目指します。

2. 目標の設定

「Challenge 100」は、9年後の連結業績として売上高700億円、経常利益率10%以上を目指すものです。



3. 「Challenge 100」における当社の将来像

当社事業を3つの分野に分けて、それぞれの方向性を明確にしました。

- (1) 基盤事業**
 国内市場の変化に伴い、生産技術の見直しや徹底した合理化によるコストダウンを図る。更に、成長著しいアジア市場を視野に入れ、新たな生産拠点の確保や既存生産拠点の収益力強化により、安定的事業分野としての確立を目指す。
- (2) 成長事業**
 当社収益の核と位置づけ、顧客のニーズに対応しつつ国内及び海外シェアを拡大する。更に、素材メーカーの強みを生かし、周辺分野への積極的な展開を行い、事業規模の拡大を図る。
- (3) 次世代事業**
 当社の次世代を担う新規事業を構築すべく、事業創出のための組織体制を再構築するとともに、現在開発中の電池材料をはじめとして、環境・エネルギー、電気・電子、医療・ヘルスケアの分野をターゲットとした新規製品群の早期事業化を目指し、この事業分野に経営資源を重点投入する。



四半期連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当第2四半期末 (平成22年9月30日現在)	前期末 (平成22年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	21,967	21,756
固定資産	17,280	18,220
有形固定資産	11,758	12,327
無形固定資産	148	163
投資その他の資産	5,372	5,729
●資産合計	39,247	39,976
負債の部		
流動負債	8,748	9,439
固定負債	7,129	7,448
●負債合計	15,878	16,888
純資産の部		
株主資本	22,361	21,754
評価・換算差額等	926	1,261
少数株主持分	81	72
●純資産合計	23,368	23,088
負債純資産合計	39,247	39,976

Point ●資産

資産合計（総資産）は、有形固定資産の減少や、株式市況の低迷による投資有価証券評価益の減少などにより、前期末に比べ7億2千9百万円減少して392億4千7百万円となりました。

Point ●負債

負債合計は有利子負債の約定返済により、前期末に比べ10億9百万円減少して158億7千8百万円となりました。

Point ●純資産

純資産合計は、その他有価証券評価差額金が減少いたしました。四半期純利益による利益剰余金の増加により、前期末に比べ2億8千万円増加して233億6千8百万円となりました。

連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当第2四半期(累計) (平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで)	前第2四半期(累計) (平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで)
売上高	15,853	14,452
売上原価	12,095	11,667
売上総利益	3,758	2,784
販売費及び一般管理費	2,253	2,224
営業利益	1,504	560
営業外収益	87	108
営業外費用	115	110
経常利益	1,476	558
特別利益	—	29
特別損失	90	92
税金等調整前四半期純利益	1,386	495
法人税、住民税及び事業税	524	230
法人税等調整額	△3	△56
少数株主利益	9	6
四半期純利益	856	314

(注) 1株当たり四半期純利益 17.24円

株式の状況 / 会社概要

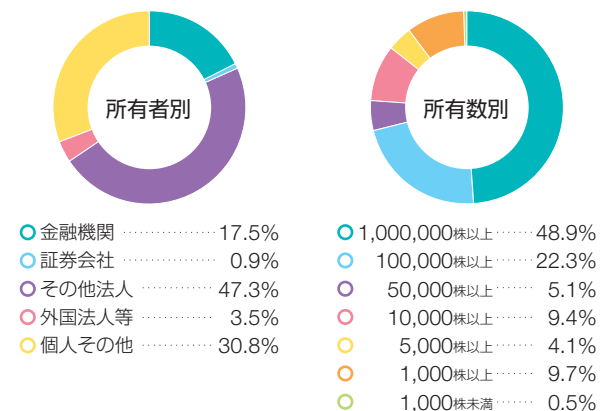
株式の状況 (平成22年9月30日現在)

発行可能株式総数	150,000,000株
発行済株式の総数	51,428,828株
株主数	5,230名
大株主	

株主名	所有株式数(千株)
双日株式会社	4,957
三井物産株式会社	3,568
三菱商事株式会社	3,260
山田産業株式会社	2,940
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	2,018
ティカグループ持株会	2,004
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,226
関西ペイント株式会社	1,224
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,137
住友商事株式会社	1,000

(注) 当社は自己株式1,780千株を保有しておりますが、上記には含まれておりません。

分布状況



会社概要 (平成22年9月30日現在)

設立	大正8年12月
資本金	9,855,953,999円
従業員	469名
事業内容	各種化学工業薬品の製造、販売(酸化チタン、界面活性剤、硫酸、微粒子酸化チタン、表面処理製品、無公害防錆顔料ほか)

事業所

本社事務所 大阪市中央区北浜3丁目6番13号
〒541-0041 電話(06)6208-6400(代)

本店 大阪市大正区船町1丁目3番47号
大阪工場 〒551-0022 電話(06)6555-3250(代)

東京支店 東京都中央区日本橋3丁目8番2号
〒103-0027 電話(03)3275-0815(代)

岡山工場 岡山市東区西幸西1072番地
〒704-8136 電話(086)946-8311(代)

熊山工場 岡山県赤磐市小瀬木50番地1
〒709-0717 電話(086)995-9290(代)

役員	代表取締役社長	清野 學
	代表取締役専務取締役	杉江 一彦
	常務取締役	古城 康治
	常務取締役	名木 正男
	取締役相談役	竹内 千秋
	取締役	吉岡 亨
	取締役	安原 正
	取締役	永岡 一義
	取締役	下道 博司
	取締役	清水 俊秀
	常勤監査役	飯沼 文博
	常勤監査役	平岡 延元
	監査役	山田 裕幸
	監査役	梶原 俊久

(注) 常勤監査役 飯沼文博ならびに監査役 山田裕幸、梶原俊久の各氏は、社外監査役であります。また、当社は株式会社東京証券取引所および株式会社大阪証券取引所に対して山田裕幸、梶原俊久の両氏を独立役員とする届出書を提出しております。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会基準日	3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	6月下旬
単元株式数	1,000株
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話0120-094-777(通話料無料)

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取・買増請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取り扱いさせていただきます。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

公 告 方 法	電子公告 公告掲載URL http://www.tayca.co.jp/ (ただし、電子公告により行うことができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告を掲載いたします)
上 場 証 券 取 引 所	東京証券取引所 市場第1部 大阪証券取引所 市場第1部



<http://www.tayca.co.jp/>



古紙パルプ配合率100%再生紙を使用



この報告書は、環境に配慮し、再生紙と植物油インキを使用しています。